

# 山口県海外ビジネスサポートデスク 通信

2月号



## 海外ビジネス展開を支援する「山口県海外ビジネスサポートデスク」随时にご相談を受け付けております！

中小企業の皆様、海外展開に関するお悩みがございましたら、ぜひお気軽にサポートデスクまでご相談ください。

### 【サポートデスクメニュー】

海外展開に関する相談  各種調査・情報提供  セミナー開催  販路開拓・商談サポート支援  展示会出展支援

※令和6年度の残りのサポート期間の関係で、お申し込みの時期とご依頼の内容によっては、ご希望のサポートが完了できない場合があります。予めご了承ください。

## 今月のデスク活動

### ■「山口県海外ビジネスサポートデスク」利用状況

2025年1月、**3社の企業様**に「山口県海外ビジネスサポートデスク」のサービスをご利用いただきました。

主な支援内容として、

#### ・県内企業からの相談対応

- 各種情報(現地市場・経済情報等)の照会に対する調査・情報提供 2件

#### ・販路開拓支援

- 商談先候補発掘・絞り込み支援 1件
- 商談候補先とのオンライン商談設定(マッチング) 2件

#### ・商談等サポート支援

- オンライン商談時の同席によるサポート 2件

これらの支援を通じて、**海外展開を目指す県内企業の情報収集、戦略立案、販路開拓をサポート**しました。

以下に、具体的な事例を抜粋し、ご紹介いたします。

次ページへ続く

## 事例紹介

### 事例 1. 製造業企業の海外展開支援

#### 利用メニュー：海外ビジネス展開の相談

##### <背景・課題>

レジャー用品、水産品、業務用釣り糸、産業資材用モノフィラメントの製造・加工・販売を手掛ける企業様より、海外展開についての総合的なご相談をいただきました。

複数の国・地域への進出を希望されていましたが、検討の結果、まずはシンガポール市場を優先的に開拓する方針となりました。特に、現地でのビジネスパートナーの発掘を重視されています。

##### <対応>

シンガポール市場における商材の市場動向、主要プレイヤー、協力先候補となる企業情報を提供しました。情報をもとに戦略を再構築し、次のステップへ進めていただく予定です。

### 事例 2. エネルギー・食品・運輸事業を展開する企業の海外進出支援

#### 利用メニュー：事業展開相談、情報収集、販路開拓

##### <背景・課題>

幅広い事業を手掛ける企業様より、食品事業における海外輸出に関するご相談をいただきました。特に、特定商材の輸出先選定と市場調査に関する情報提供を希望されています。

##### <対応>

今後の事業展開を見据え、台湾市場の「加工食品の最新トレンド」に関する情報を提供しました。

タイ市場については、現地レストラン経営企業との商談マッチングを実施しました。

商談後、間接輸出を希望され、現地レストランの日本国内協力先と見積もり等の調整を継続中です。

### 事例 3. ペット用品・養殖関連企業のタイ市場進出支援

#### 利用メニュー：販路開拓支援

##### <背景・課題>

ペット用品の製造・貿易、車海老成長剤の販売を行う企業様より、タイ市場への販路開拓に関するご相談をいただきました。

特に、タイのエビ養殖業者との商談機会の創出を希望されています。

##### <対応>

タイ・カラシン県でエビ養殖を行う企業と商談マッチングを実施しました。

養殖環境の違いから、効果検証が今後の課題となるため、引き続き情報交換を行いながら直接コンタクトを継続予定です。

## 現地からお届け！ 最旬情報 -マレーシア編-

今回は、マレーシアに焦点を当てて、現地の経済や文化、そして最近のトレンドをご紹介します！

### マレーシアの行事①

こんにちは！早いもので、もう2月ですね。日本では寒さがまだまだ厳しい季節かと思いますが、読者の皆様はいかがお過ごしでしょうか？どうぞお身体にお気をつけて、この冬を元気に乗り越えてください！

さて、今月はマレーシアの最新トレンドやニュース、ちょっとした小話をお届けします。今回ご紹介するのは、このシーズンにマレーシアで行われる行事についてです。その1つは旧正月です！

日本ではあまり馴染みのないイベントですが、多民族国家が多い東南アジアでは、クリスマスや年越しなどと並ぶほどの規模を有する行事です。マレーシアの国教はイスラム教ですが、総人口のうち、中華系民族は約4分の1を占めています。その為、毎年1月末から2月に行われる旧正月はマレーシア国内で大きな盛り上がりを見せます。先月号では、シンガポールの旧正月についてお話ししましたが、基本的にはマレーシアもシンガポールも旧正月に関しては、大きな違いはありません。（そもそも60年前までは同じ国でした）

赤が縁起の良い色とされ、街中に赤色のデコレーションが施されます。長寿や子孫繁栄など様々な意味合いが込められた日本という「おせち」や「恵方巻き」のような縁起の良い伝統料理を家族や親戚とともに頂きます。その中でもユニークなのが「イーサン」と呼ばれる、サーモンの刺身をメインにした料理です。イーサンは、中国本土の文化ではなく、マレーシアとシンガポールの中華系住民によって発展した独自の風習です。イーサンを囲む際、家族や親戚全員で箸を使い、具材を高く持ち上げて落とすというユニークな儀式が行われます。この動作には「願い事を天に届ける」という意味が込められており、テーブルが多少散らかることもご愛嬌。むしろ、散らかるほど縁起が良いとされています。この一風変わった風習も、マレーシアとシンガポールならではの楽しみ方ですね。

### マレーシアの行事②

2つ目の行事はバレンタインです！

旧正月ほど大きなイベントではないですが、日本人にとってバレンタインデーは旧正月よりも馴染みのある行事の1つですね。そもそも、バレンタインデーは聖バレンタインに由来するキリスト教の祝祭日であり、宗教的な意味合いも含まれています。一方で、マレーシアの国教はイスラム教です。同じくイスラム教を国教とするサウジアラビアなどの国では、バレンタインデーを祝うことが宗教的に禁止され、関連商品の販売すら認められていません。

しかし、マレーシアは多民族国家であり、他宗教や文化に対して非常に寛容です。そのため、キリスト教徒やその他の宗教を信仰する人々にとって、バレンタインデーは自由に楽しめるイベントとなっています。この柔軟さが、マレーシアの大きな魅力の一つですね。日本ではバレンタインデーといえば、女性が男性にチョコレートやお菓子を贈るのが一般的です。一方、マレーシアではこの日、男性が女性にプレゼントを贈るのが主流です。特に多いプレゼントは「薔薇（バラ）」です。真紅の薔薇の花束を贈るのが定番で、恋人や大切な人をディナーに招待することもよくあります。このように、愛情を込めたロマンチックな演出を楽しむのがマレーシア流のバレンタインデーです。

また、バレンタインデーを祝うカップルたちは、高級レストランでの食事やちょっとした旅行を計画することもあります。日本のように「義理チョコ」や「友チョコ」の文化は見られませんが、その分、恋人同士が愛を深める特別な1日として過ごすことに重点が置かれています。同じイベントでも、国や文化によってこれほど違いがあるのは面白いですね！

## 新興国と若年層, E コマース

マレーシアをはじめとした ASEAN 諸国で注目されるビジネストrendやマーケティングの最新動向についてお話しします。若い世代が活躍する市場として注目されるこの地域には、日本とはまた違った独自の特徴が多く見られます。東南アジア、特にマレーシアは比較的出生率が高く、国民の平均年齢が若いことが特徴です。

この若さは、経済成長を支える大きなエネルギー源となっています。中間層が増加する一方で、消費行動も変化し、若者たちのライフスタイルや価値観がマーケットのトレンドを大きく左右するようになってきました。例えば、ファッション、食品、エンターテインメントといった日常的な消費だけでなく、教育やキャリアアップに向けたサービスも高い需要があります。こうした背景から、若い世代にリーチするためのマーケティング戦略が企業にとって重要視されています。若い世代が多く、SNS 利用が活発なマレーシアでは、インフルエンサーを活用したマーケティングが大きな注目を集めています。特に Instagram、TikTok、Facebook といったプラットフォームは、高いエンゲージメントを生み出す場として活用されています。

また、商品プロモーションを行う際、単に広告を配信するのではなく、インフルエンサーを通じてリアルで親しみやすいイメージを発信することが効果的です。特に若者たちは、インフルエンサーの意見や体験談を参考にして商品やサービスを選ぶ傾向が強く、企業がこの戦略を取り入れることは必須となっています。

さらに、SNS を利用して顧客との直接的なコミュニケーションを行う企業も増えており、顧客体験を向上させる施策としても注目されています。今後も通信インフラの拡大やデジタル化の進展とともに、若者をターゲットにした新しいマーケティング手法が次々と生まれるでしょう。特に、EC 市場の成長やデジタルサービスの拡大に合わせ、AI やデータ分析を活用したパーソナライズドマーケティングがますます重要になっていくと予想されます。

## 最後に…

私はシンガポールに居住しておりますが、シンガポール在住の日本人はこの旧正月の連休を使って日本に一時帰国されたり、周辺諸国へ旅行に出かける方が多いです。ちなみに私は昨年、シンガポールから車で国境を渡り、ジョホールバル経由でマレーシアのマラッカまで観光行きました。ゆっくりとリーズナブルで美味しいマレー料理などをいただきながらゆっくり過ごせたのですが、帰りのシンガポールへ向かう道路や、国境付近のイミグレーションが詰まり大渋滞となりました。通常は 3 時間半から 4 時間程度でいけるところが、7 時間くらいかかり大変な思いをしましたので、今年はシンガポールでゆっくりすることにしました。12 月 31 日から 1 月 3 日くらいまでゆっくり過ごす日本で言う通常のお正月と、中華系の方々の旧正月と 2 度、異なる違うお正月気分を味わえるのも楽しいですね。



(文責 : NIHON ASSIST SINGAPORE PTE.LTD. Managing Director 関 泰二)